



DG Value News

第42期のご報告

2022年1月1日～2022年12月31日

タイ工場10周年
記念パーティーの
動画が再生されます。



ローランドディー.ジー.株式会社

Purpose

世界の創造をデザインする

わたしたちは、革新的なデジタルソリューションを通して、世界中の人々に創造の素晴らしさや楽しさ、そこから生まれる驚きや感動を提供します。

当社では創業以来、製品の提供だけでなく、市場を創出し、デジタルの力でお客さまの生活や世の中を豊かにするお手伝いをしてまいりました。当社の存在意義を改めて明文化し、スローガンである「創造」「BEST」「共感」とともにパーパスを世の中に発信していく所存です。

株主の皆さまへ

Imagine. 

企業理念

ミッション

デジタル技術の活用で、より豊かな社会を実現する

スローガン

創造の喜びを世界にひろめよう
BIGGESTよりBESTになろう
共感を呼ぶ企業にしよう

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第42期(2022年12月期)の世界経済は、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、エネルギー価格の高騰などの影響もあり、依然として先行きの不透明感は続いたものの、堅調な設備投資需要と新製品投入、為替の円安効果により売上高は過去最高を達成いたしました。同時に、当社が中期経営計画のもと取り組む「成長領域の拡大」に向けて、大きく前進することができました。

引き続き、成長領域への積極的な経営資源投入により事業ポートフォリオの転換に取り組み、事業成長の基盤を固めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 社長執行役員

田部 耕平



2023年3月24日に開催した第42期定時株主総会にてご承認いただき、新たに選任されました取締役および監査役それぞれ1名をご紹介します。

社外役員を増員することで、一層のガバナンス強化に努め、企業価値向上に取り組んでまいります。



社外取締役 かさほら やすひろ
笠原 康弘

● プロフィール

- 2006年10月 弁護士登録
- 2006年10月 長島・大野・常松法律事務所 入所
- 2012年9月 Nagashima Ohno & Tsunematsu NY LLP
- 2014年9月 Machado Meyer Sendacz Opice Advogados(Sao Paulo)
- 2016年4月 東京大学法学部非常勤講師
- 2017年1月 長島・大野・常松法律事務所 パートナー弁護士(現任)
- 2019年4月 東京大学大学院法学政治学 研究科客員准教授
- 2023年3月 当社取締役(現任)

Q ご自身の強みと専門性を教えてください

2006年に弁護士となって以来、一貫してコーポレート/M&A分野の法務業務を行っており、複雑な国内外のM&A取引・経営統合取引、スタートアップ投資等を専門とするとともに、上場会社のガバナンスについても助言しております。また、海外(米国およびブラジル)での勤務経験を活かし、クロスボーダーの案件を得意としております。日頃から、法的なリスクを指摘することにとどまらず、実務的な解決策を積極的かつタイムリーに提示し、依頼者のビジネスに貢献できるアドバイスをを行うことを信条としております。

Q ローランド ディー・ジー・の印象をお聞かせください

日本に本社機能を有しながらも、製造拠点を国外に展開し、海外での売上が大きいグローバルな企業であり、また、デンタル分野等、変化を恐れずに新しい市場への挑戦を果敢に行い成功している企業という印象です。「グローバル」、「新しい分野への挑戦」というキーワードを意識しながら、会社の魅力をさらに高められるように力になりたいと思います。

Q 取締役として果たしたい役割について

上場企業において弁護士が社外取締役となる場合に期待されていることは、会社のコンプライアンス、ガバナンスその他法的な事項について適切に判断をすることだと考えております。上場企業に求められるコンプライアンス、ガバナンスの要求水準は年々高まっている状況ですが、会社全体のコンプライアンス、ガバナンスの向上に尽力したいと考えております。その上で、近視眼的に法的リスクを捉えるのではなく、常にビジネスとのバランスを十分に意識して、会社の企業価値向上に資するように貢献させていただきまます。

Q 株主の皆さまへのメッセージ

私の企業法務弁護士としての目標は、経営に一番近いところで最も信頼されるアドバイザーとなるというものです。この度、社外取締役になり、自分の目標としてきたものを実践する機会をいただき光栄に思います。私自身、企業法務弁護士として国内外の法務分野の最前線で活動しておりますが、これまでに培った知見を最大限活用し、株主の皆さまの負託にかなうように努力してまいります。

Q ご自身の強みと専門性を教えてください

共感力と客観性を併せ持つことが私の強みです。監査法人や税理士法人で経験を積んだ後、会計事務所を開設して以来、「Working together for your brighter future(経営者の皆様の夢を形に、そしてよりよい未来へ)」を事務所の方針として掲げております。英語の「audit(監査)」はラテン語の「auditus(聴く)」に由来しますが、普段の業務においても、経営者の想いをじっくり聴くことを大切にしております。その上で、決算書から課題となる点を見つけ出し、改善策とともに考えることで、より質の高い経営判断をしていただけるよう、努めております。

Q ローランド ディー・ジー・の印象をお聞かせください

当社グループの一人おひとりがプロフェッショナリズムを有することにより、高い組織力が醸成されている企業という印象です。以前、当社グループの会計監査に携わっていた際、多くの方々とお話しをする機会がありましたが、こちらからの質問に対して、常に熱心にかつ的確に答えていただきました。今回、改めて本社を訪問した際には、「世界の創造をデザインする」というパーパスのもと、製品やサービスを通して、驚きや感動を世界に提供していくという熱量を強く感じ、感銘を受けました。

Q 監査役として果たしたい役割について

私の役割は、公認会計士として培った知識や経験を基に、実効性のある監査を実施することだと認識しております。加えて、現在、国内外で非財務情報の開示の拡充に向けた取り組みが急ピッチで進められるなど、会計の世界においても大きな変化が生じているため、私自身が継続的に研鑽を積み、時代の流れを捉えていくことが重要な責務であると考えています。

Q 株主の皆さまへのメッセージ

この度、社外監査役に選任していただき、責任の重大さに身の引き締まる思いがいたします。社会経済情勢が目まぐるしく変化する時代において、企業が持続的な成長を遂げるためには、適切なコーポレートガバナンスを構築・強化していくことが、必要不可欠です。社外監査役という第三者の立場から、公正かつ透明性の高い経営の確保に貢献し、ひいては企業価値の向上に貢献できるよう、努力を重ねてまいります。



社外監査役 いぐま めぐみ
井熊 芽久美

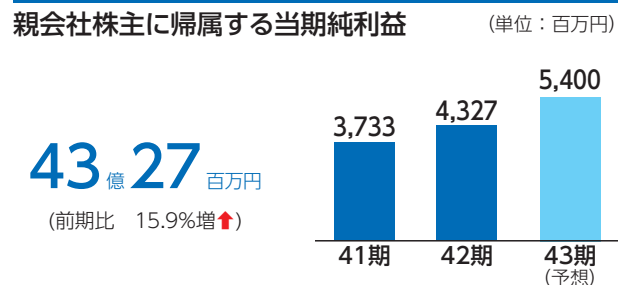
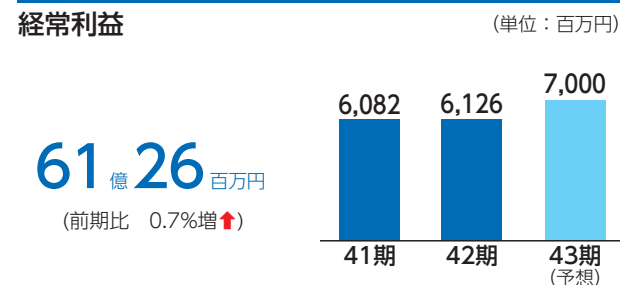
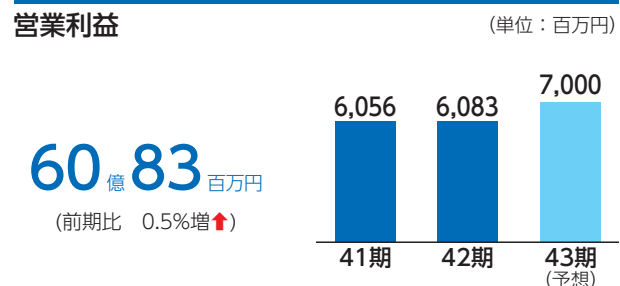
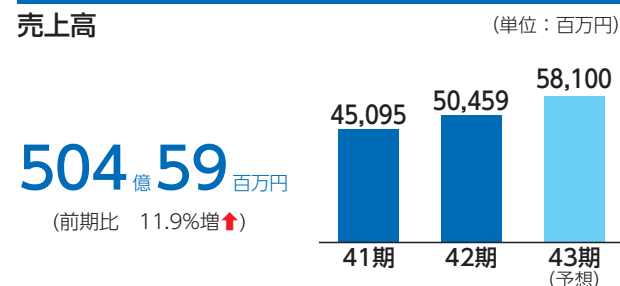
● プロフィール

- 2005年12月 新日本監査法人(現 EY新日本 有限責任監査法人)入所
- 2010年1月 有限責任監査法人トーマツ入所
- 2013年3月 税理士法人トーマツ(現 デロイトトーマツ税理士法人)入所
- 2013年11月 公認会計士登録
- 2016年1月 めぐみ会計事務所開設 同事務所代表(現任)
- 2020年3月 ㈱オートサーバー取締役(監査等委員)(現任)
- 2021年8月 ㈱エンパワーリングイングリッシュ代表取締役(現任)
- 2023年3月 当社監査役(現任)

円安効果もあり、売上高は過去最高額を達成

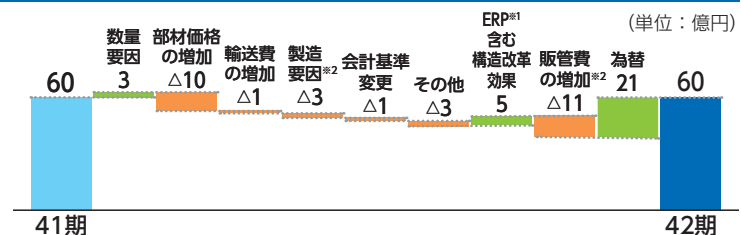
2022年12月期連結業績について

当期の連結売上高につきましては、設備投資需要が堅調に推移したことから、前期比11.9%増の504億59百万円となりました。タイへの生産拠点の集約効果があったものの、部材価格や海上輸送費の高騰などの影響により、売上原価率は前期に比べて1.4ポイント上昇しました。販売費及び一般管理費は、前期を上回りましたが、売上高に対する比率は前期並みとなりました。以上から、営業利益は60億83百万円(前期比0.5%増)、経常利益は61億26百万円(前期比0.7%増)となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は43億27百万円(前期比15.9%増)となりました(前期は早期希望退職者の募集に伴う費用12億37百万円を特別損失として計上)。



営業利益の増減要因

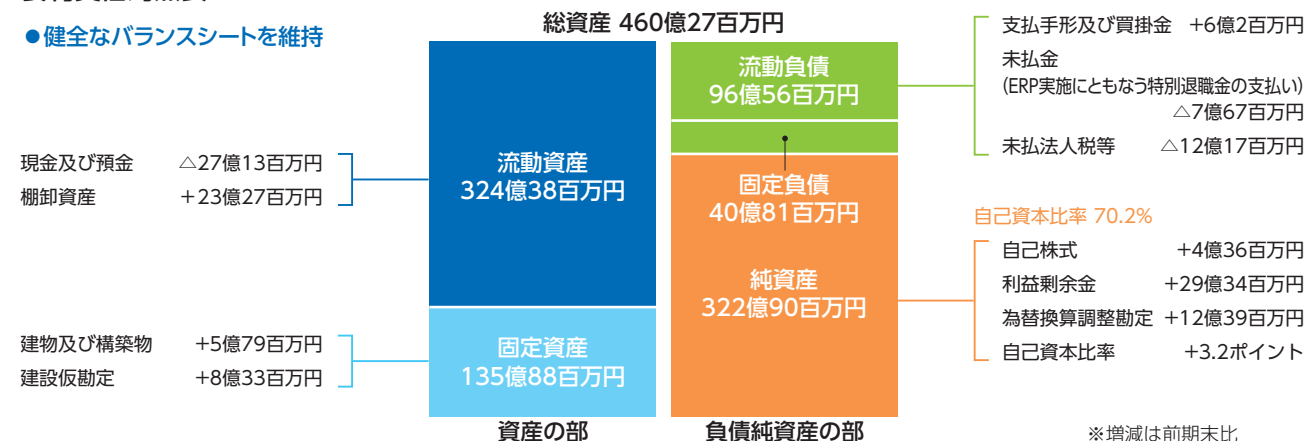
- 販売数量の増加による増益効果
- 構造改革による効率改善
- 為替差益
- 部材価格および輸送費の増加
- 販管費の増加



※1 早期希望退職制度 (Early Retirement Program)
 ※2 ERPを含む構造改革効果を除く

要約貸借対照表

● 健全なバランスシートを維持

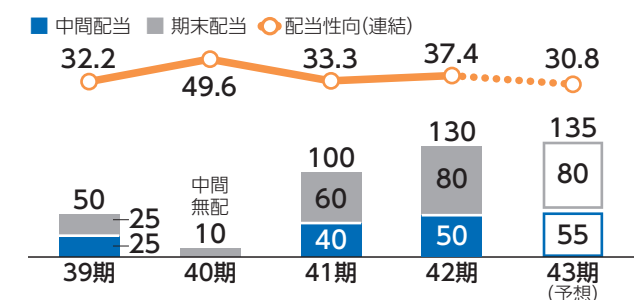


株主還元

年間配当では過去最高 期末配当 1株につき 80円

配当につきましては、期末配当を80円、通期では前期と比べて30円増配の130円とさせていただきます。次期の配当につきましては、中間配当55円、期末配当80円、年間では5円増配の135円、配当性向30.8%を予想しております。

1株当たり配当金/配当性向(連結) (単位: 円/%)



2023年12月期 通期連結業績予想

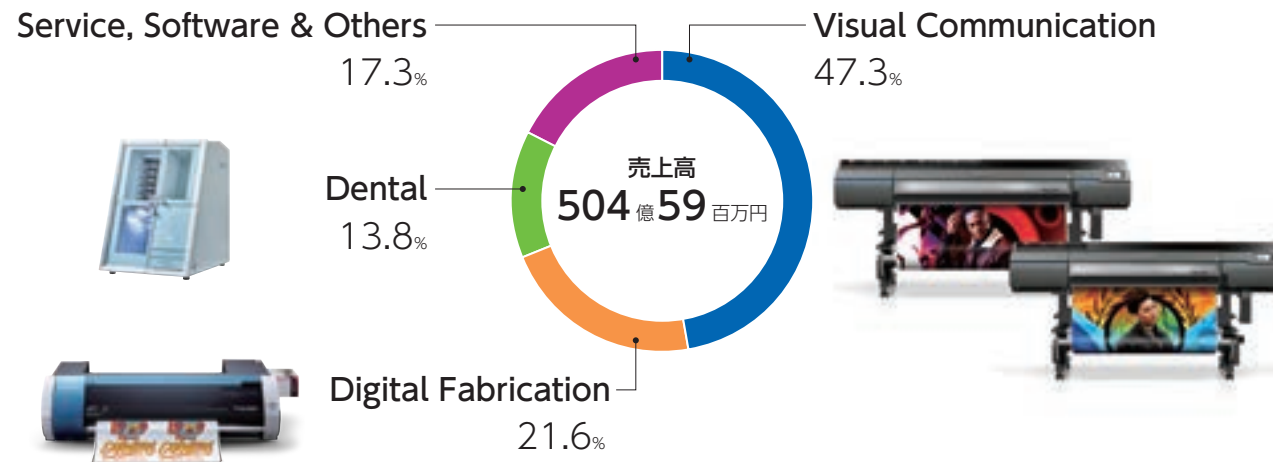
● 増収増益を予想

成長分野への積極的な新製品投入と、新興国地域への販売強化により増収を見込んでおります。また、部材価格の高止まりは通期にわたって継続すると想定し、前期末時点の水準を織り込むものの、増収効果により増益となる見込みです。

	43期通期連結業績予想
売上高	581億円
営業利益	70億円
経常利益	70億円
親会社株主に帰属する当期純利益	54億円

想定為替レート: 125.00円/米ドル、135.00円/ユーロ

売上高構成比



VC Visual Communication (ビジュアルコミュニケーション)

従来の低溶剤プリンターのVC-SolventとUVおよびテキスタイルプリンターなどの非溶剤系プリンターVC-Otherで構成。インク
の多様化とソリューション拡充により新市場の開拓と顧客基盤の強化を図り、収益確保を目指します。

DF Digital Fabrication (デジタルファブリケーション)

一人ひとりの顧客ニーズに合わせたパーソナライズ需要や、ニッチなニーズに応えるためのカスタマイズ需要などに対応する製品
群により新たな市場・用途の創出を目指します。

Dental Dental (デンタル)

デンタル(歯科医療)市場向け加工機を提供。先進国を中心に市場を拡大してきましたが、歯科補綴物製作フローのデジタル化の
進展が見込まれる新興国地域への展開を開始しています。あわせて歯科技工所だけでなく、歯科クリニック(歯科医院)への提案を
進めていくことで、ビジネスの柱として育成していく分野です。

SSO Service, Software & Others (サービス・ソフトウェア&その他)

サービスパーツの供給および保守サービスの提供に加え、ソフトウェアによるコネクテッド関連サービスの提供によりSaaSビジネス
の確立を目指します。

Visual Communication (VC)



- サイン市場向け低溶剤プリンターの新製品「TrueVISシリーズ」と低溶剤インクの販売が好調に推移しました。
- 欧米を中心にUVプリンター「LEC2シリーズ」とUVインクの販売が大きく増加しました。

Dental



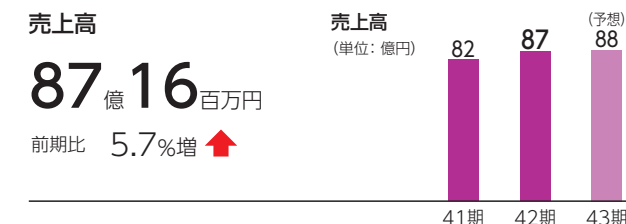
- 前期に発売した新興国モデル「DWX-52Di」が中東、中南米、アジアを中心に販売が拡大しました。
- 一部地域では新興国モデルに置き変わったことで、従来モデル「DWX-52D/52DCi」の販売が前期を下回りました。

Digital Fabrication (DF)



- 前期に発売した卓上型低溶剤プリンター「BN-20A」の販売が北米を中心に増加しました。
- カスタマイズ用途として欧州を中心に展開してきた外部パートナーとの協業によるCo-Creationモデル「LEC2 Sシリーズ」が、販売エリアの拡大により売上に大きく貢献しました。

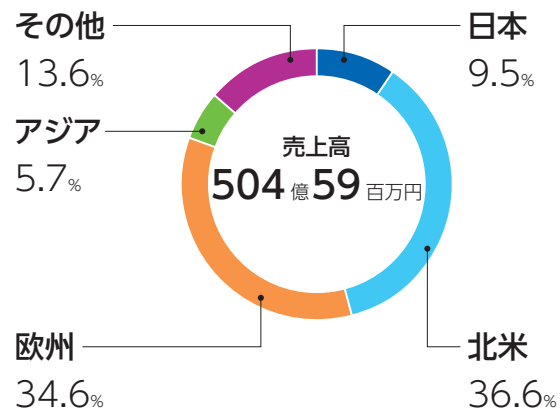
Service, Software & Others(SSO)



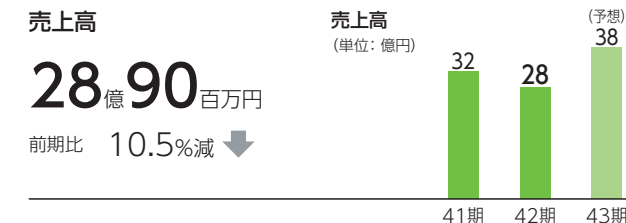
- サービスパーツの販売は前期並みとなりました。
- 売上に含む送料およびその他保守売上などが増加しました。

円安メリットもあり北米が好調の一方、アジアでは中国が低迷

売上高構成比



アジア



- インド、ベトナムで販売チャネルの整備拡大が進み、デンタル加工機の販売が大きく増加しました。
- ゼロコロナ政策が続いた中国は、前期比で大幅な減収となりました。

日本



- **VC** サイン市場向け低溶剤プリンターの新製品およびUVプリンターの販売が増加しました。
- **DF** 3次元切削加工機の販売が増加しました。
- **Dental** 保険適用範囲が拡大したことから、デンタル加工機の販売が増加しました。

北米



- **VC** サイン市場向け低溶剤プリンターの新製品およびインクの販売が増加しました。
- **DF** 卓上型低溶剤プリンターの販売が大幅に増加しました。
- **DF** Co-Creationモデルのフラットベッド型UVプリンターの販売が増加しました。

欧州



- **VC** サイン市場向け低溶剤プリンターが前期を下回りましたが、ロールタイプのUVプリンターの販売が増加しました。
- **DF** Co-Creationモデルのフラットベッド型UVプリンターの販売が増加しました。
- **Dental** Dentalは、好調だった前期をやや下回りました。

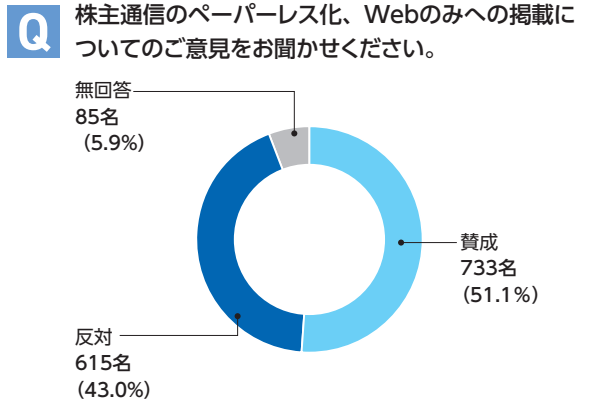
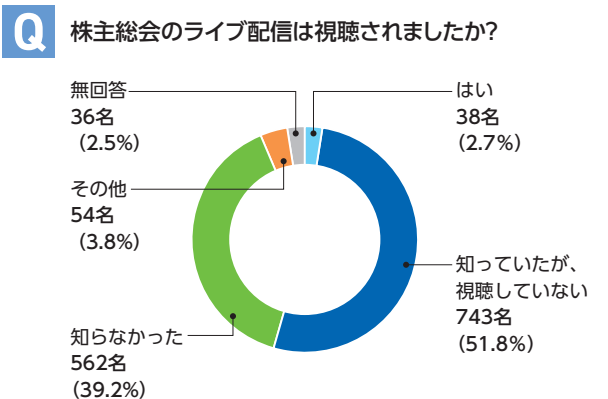
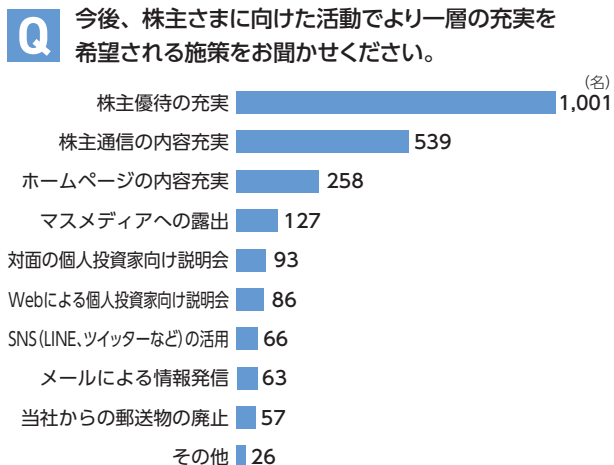
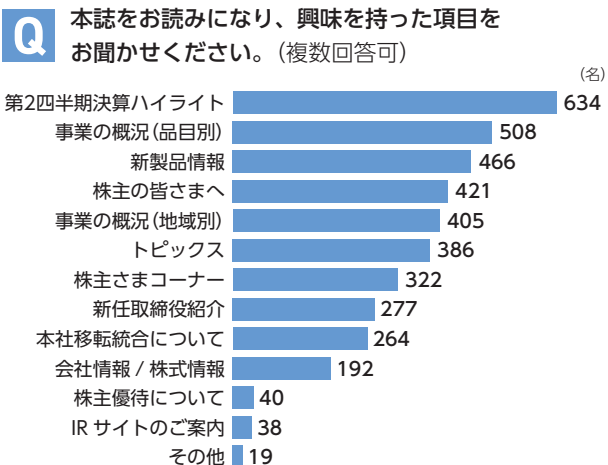
その他



- ブラジルを含む中南米の販売が前期比で大きく増収となりました。
- オーストラリア、中東、南アフリカではデンタル加工機の販売が増加しましたが、サイン市場向け低溶剤プリンターの販売は減少しました。

✍️ 株主さまアンケート集計結果

第42期中間DG Value Newsにて実施させていただきました「株主さまアンケート」では、1,433名(回答率9.2%)の株主さまにご回答をお寄せいただきました。心からお礼申し上げます。ここにアンケート結果の一部をご報告いたします。



次回の定時株主総会でもライブ配信を予定しております。

株主通信のペーパーレス化の予定はございませんが、今後の運用の参考とさせていただきます。

株主さま 株主さまからアンケートでお寄せいただいたご質問にお答えいたします。

Q デンタル部門があるのが面白いと思いました。

A デンタル(歯科医療)業界では、歯の治療に使われる歯科補綴物の素材としてジルコニアが登場し、その加工手段が削り出すことが唯一の方法であったことから、切削技術を持つ当社では「コンパクト」、「簡単操作」、「低価格」をコンセプトにしたデンタル加工機を開発し、2010年より歯科業界に参入しました。以来、先進国を中心に市場を拡大し、トップブランドの地位を確立してまいりました。新興国においては、歯科補綴物製作フローのデジタル化が見込まれることから潜在需要が大きく、さらなる成長を目指すとともに、デンタル部門を今後の事業の柱として育成してまいります。

Q 「ワクワク」いいですね。

A パーパス(存在意義)として打ち出している「ワクワク」は、お客さまに感じていただく感情ですが、それを実現するには全てのステークホルダーとの協業によるワクワクの連鎖が必要です。また、2023年秋には当社従業員が日々ワクワクしながらデジタルソリューションの開発ができる環境を目指した、本社新社屋が完成いたします。新しい環境で、今までとは違う未来を想像しながら新しい価値を創造していけるようになりたい、そんな願いを込めてパーパスとともに2023年の活動スローガンとして「SHIFT」を策定いたしました。活動スローガンには、中期経営計画にも掲げているポートフォリオの転換の必達とコロナ禍で大きく変化した働き方や新しい価値観を柔軟に捉え、新たな企業文化の創造に繋げていくという意味を込めています。現状に甘んじることなく、「デジタル技術の活用で、より豊かな社会を実現する」というミッションのもと、チャレンジし続けられる企業にSHIFTしてまいります。

✔️ 株主さまアンケートのお願い アンケート実施期間 2023年6月30日(金) 締切

当社では、株主さまの声をもとに、IR活動の充実を図っていきたくと考えております。回答方法につきましては、同封のアンケートハガキを郵送いただくか、もしくはオンラインでの回答を承っております。どちらか一方をお選びいただければ幸いです。皆さまからのご回答をお待ちしております。

アンケートサイト <https://forms.office.com/r/UDh9j03yp3>

※ オンラインでの回答は1回限りとなります。
 ※ 「ご回答ありがとうございました」の画面が出るまで、確認をお願いいたします。





DWX-53DC

発売日 2022年9月7日

デンタル加工機的主力機種の新製品。コンパクトサイズながらもフレーム剛性の強化による加工品質の向上と高速ディスクチェンジャーの搭載などによる高い生産性向上を実現しました。また、内臓カメラと稼働マネジメントソフトウェア「DGSHAPE CLOUD」との連動により、スマートフォンやPCから稼働状況をいつでもどこからでも把握することができ、加工計画やメンテナンス計画の策定などをサポートします。加工品質とユーザビリティを大きく向上させたDWX-53DCは、生産性を重視する先進国を中心に販売を展開してまいります。



DWX-53DC



タイ工場創立10周年

当社製造子会社Roland Digital Group (Thailand) Ltd.(タイ工場)が創立10周年を迎え、9月21日に現地にて記念式典を開催しました。

タイ工場は、2012年10月より量産を開始、2013年1月にグランドオープンした当社初の海外工場です。2014年、2021年と増床工事を実施し、2022年には中期経営計画の基本方針の一環として、量産機能の集約にともない生産体制の増強を目的とした3回目の増床工事を決定いたしました(2023年稼働)。



タイ工場前でスタッフ一同集結

創立当初は2021年に発生したタイでの大規模洪水、同年の東日本大震災の被害によるサプライチェーンの寸断など、生産活動にも大きな影響が出ました。直近では、コロナ禍での部品調達難により混乱が続く中で生産の効率化を追求しております。タイ工場の創立10周年を迎えられたことを全てのステークホルダーに感謝すると同時に、今後も世界中のパートナーとともに「想像を超える創造」の実現を目指してまいります。

詳しくは、当社ブログにてご紹介しております

タイ工場が創立10周年を迎えました
<https://www.rolanddg.com/ja/news/2022/220926-roland-dg-thailand-10th-anniversary>



■ 会社概要

商号	ローランド ディー.ジー.株式会社
設立	1981年5月1日
資本金	3,668,700,000円
従業員数	1,177人(連結)
本店所在地	静岡県浜松市北区新都田一丁目6番4号

■ 取締役および監査役 (2023年3月24日現在)

代表取締役 社長執行役員	田部 耕平
取締役 常務執行役員	上井 敏治
取締役 常務執行役員	アンドリュー・オランスキー
社外取締役*	細 窪 政
社外取締役*	岡田 直子
社外取締役*	ブライアン・K・ヘイウッド
社外取締役*	笠原 康弘
常勤監査役	鈴木 正康
常勤監査役	長野 直樹
社外監査役*	本田 光宏
社外監査役*	井熊 芽久美

※(株)東京証券取引所が定める独立役員です。

■ 執行役員 (2023年3月24日現在)

常務執行役員	尾藤 寿
常務執行役員	小川 和宏
執行役員	倉田 裕司
執行役員	トニー・ミラー

■ 連結子会社

海外 15社 国内 1社

■ 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日
定時株主総会開催時期	3月中
単元株式数	100株
基準日	定時株主総会 12月31日 期末配当 12月31日 中間配当 6月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告します。
公告方法	当社の公告は電子公告とし、インターネットホームページに掲載します。 https://ir.rolanddg.com/ja/ir.html ※ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

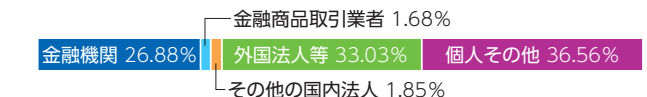
■ 株式の状況

発行可能株式総数	71,200,000株
発行済株式の総数	12,656,311株
株主数	19,415人

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,067,800	16.53
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	972,100	7.77
TAIYO HANEI FUND, L.P.	891,700	7.13
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505227	852,400	6.82
TAIYO FUND, L.P.	439,300	3.51
富岡 昌弘	326,900	2.61
RE FUND 107-CLIENT AC	296,800	2.37
ローランド ディー.ジー.社員持株会	239,906	1.92
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	150,900	1.21
ローランド株式会社	127,300	1.02

※当社は、自己株式150,108株を保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。
 ※持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を除外して、算出しております。
 ※持株比率の計算上、役員向け株式給付信託および従業員向けインセンティブ・プラン[株式給付型ESOP]の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託口)が所有している当社株式192,100株を含めて計算しております。

■ 所有数別状況



※自己株式150,108株は「個人その他」、証券保管振替機構名義株式8,500株は「その他の国内法人」に含まれています。
 ※記載比率は、小数点第2位未満を四捨五入して表示しています。

同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-7111(通話料無料) [受付時間 9:00~17:00(土、日、祝祭日、年末年始を除く)] ホームページ www.tr.mufg.jp/daikou/
本誌に関するお問い合わせ先	IRユニット TEL 053-484-1400

(ご注意)
 1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

IRサイトのご案内

当社では、株主や投資家の皆さまにとって有用な財務・非財務情報の積極的かつタイムリーな開示を目指し、IRサイトのコンテンツ拡充と機能強化に努めております。この度、日興アイ・アール社が主催する「2022年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング」において、「優秀サイト」を受賞しました。今後も皆さまとの対話強化として、ウェブサイトを通じたIR活動に注力してまいります。



<https://ir.rolanddg.com/ja/ir.html>

ローランド ディー.ジー.IR

検索



株主優待

毎年12月末現在の株主名簿に記載された**1単元(100株)以上を、1年以上継続保有(株主名簿基準日に連続して3回記載)**されている株主さまを対象に、3月10日より株主優待カタログを発送しております。カタログに記載の有効期限をご確認いただき、お早めにお申し込みください。

株主優待内容

保有株式数	継続保有期間	優待内容
100株以上 300株未満	1年未満	—
	1年以上	当社オリジナルカタログより3,000円相当の商品を1品贈呈
300株以上	1年未満	—
	1年以上	当社オリジナルカタログより5,000円相当の商品を1品贈呈



株主優待カタログに関するお問い合わせ先

<https://ir.rolanddg.com/ja/ir/contact2.html>



100株以上
300株未満保有の
株主さま向け
カタログ



300株以上
保有の
株主さま向け
カタログ